

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
乳児保育 I Baby Child Care I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(保育士養成課程必修・教職課程必修(幼稚園二種))	こどもフィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小竹利夫	講義棟2階	月・火・水・木の8時～18時		授業中に指示します
授業の概要				
乳幼児の発達を理解し、その行動の見方・気持ちの理解の仕方・対応の仕方を具体的、実践的に学ぶ。保育所・乳児院における乳児保育の現状と課題について理解する。乳幼児を育てる母親の気持ちを学ぶ。乳幼児が喜ぶおもちゃを手作りする。				
授業の目標				
①乳幼児の発達について学ぶことができるようにする。 ②乳幼児の気持ちの理解の仕方を学ぶことができるようにする。 ③乳幼児の保育の仕方を学ぶことができるようにする。 ④乳幼児のおもちゃを作製することができるようにする。 ⑤乳幼児を育てる母親の気持ちについて学ぶことができるようにする。				
授業の方法				
様々な乳児保育の事例(ケース)を紹介しながら、具体的に進める。毎回、小レポート提出。乳幼児のおもちゃを作製する。				
学習の成果(学習成果)				
①乳幼児の行動の意味や気持ちを分析する視点を持つことができる。 ②乳幼児の発達を評価し、保育することができる。 ③母親の気持ちを分析し、支援することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(授業の内容・進め方・評価の方法)。			
第2回目	乳幼児の心理発達。			
第3回目	乳幼児の運動発達。			
第4回目	乳幼児の社会性の発達。			
第5回目	言葉の発達の道筋。(誕生～1歳)			
第6回目	言葉の発達の道筋。(1歳～2歳)			

第7回目	言葉の発達の遅れと援助。
第8回目	乳幼児と母親の気持ちの理解と対応。（誕生～6ヶ月）
第9回目	乳幼児と母親の気持ちの理解と対応。（6ヶ月～1歳）
第10回目	乳幼児と母親の気持ちの理解と対応。（1歳～1歳6ヶ月）
第11回目	乳幼児と母親の気持ちの理解と対応。（1歳6ヶ月～2歳）
第12回目	発達を促すおもちゃ作り。
第13回目	発達障害児の評価と援助。
第14回目	乳児保育の実際。
第15回目	子育て支援の場の広がりにつながり。

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	授業を集中して聞き、質問に対して積極的に答える。必要なことはきちんとノートに取る。
レポート	70%	授業の中でレポートを書く。授業の内容を理解した上で、自分の考えを展開することが求められる。1回5点満点で計14回。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

参考資料適宜使用、適宜資料を配布。

履修上の留意点・ルール

私語禁止。飲食禁止。